

伝統所作入門 — 着物で学ぶ役者の身体

和物所作ワークショップ

2026 / 6 / 14・21 (2日間)

13:30～16:30 *1時間前よりご入場いただけます。

和物の芝居には、日本ならではの身体の使い方があります。立つ、座る、歩く。その一つひとつの所作には、美しさと意味が宿っています。本ワークショップでは、俳優のための「和物の所作」を基礎から丁寧に学びます。時代劇や古典作品だけでなく、俳優としての身体表現を豊かにするための時間です。



料 金：19,800円(消費税込)
対 象：演劇経験のある方／定員15名

*当日は着物または浴衣のどちらかにてご参加ください。
会場に着替える際はお早めにお越しください。

会 場：文学座附属演劇研究所
東京都新宿区四谷3-5-3 山本ビル4F
四谷三丁目3番出口 徒歩2分

申 込：①お名前(フリガナ)
②年齢
③性別
④演劇経験、またはご所属
⑤メールにてお申込みください
・ws.bungakuza@gmail.com



講師／富沢亜古

1978年文学座附属演劇研究所入所。1983年に座員となり、現在に至る。第7回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞(『令嬢ジュリー』)。代表作として、2007年『殿様と私〜殿、踊りましょうぞ〜』、2018年『怪談 牡丹燈籠』、2021年『ウィット』(紀伊國屋サザンシアター-TAKASHIMAYA)、2013年『セールスマンの死』(あうるすぽっと)、2024年『撰』(紀伊國屋ホール)。